

大丈夫ですか！自然災害の備え(資料は5月28日発送)

新規申込・契約変更は7月末日まで返送を

↓この封筒が届いたら 先ずは開封を！



●各種共済問合せ先●

◆電通共済コールセンター
0120-211-114(土・日・祝除く)
受付時間=9:00~17:30

◆福島県支部協議会
出勤曜日=月・火・木
電話=024-534-1144
受付時間=9:00~15:00

今回は、火災共済・自然災害共済の制度と掛金が改訂されます。改めて自分の契約内容を確認し、突然襲ってくる災害に備えましょう。

風水害の保障内容がパワーアップされる

一、自然災害共済のタイプ名変更

- ①「大型タイプ」をベーシック
- ②「標準タイプ」をエコノミー

二、「風水害等」の保障内容を充実し、そのポイントは頻発する大規模な風水害に備えるために改定を行いました。

- ① 風水害等共済金の支払い要件の変更(緩和)
- ② カーポート等の付属建物等保障を実損額保障へ見直し
- ③ 雨どいなど給排水設備の詰

「火災共済」と「自然災害共済」の制度・掛金が改定されます

より等による建物内部の水漏れ事故を支払い対象へ

- ④ 風水害等共済金の支払い方式の変更
- ⑤ 二〇二四年十二月より、自然災害共済の掛金改訂(引き上げ)が実施されます。詳細は、自宅へ送付される資料をご覧ください。

大切な住まいと家財の保障は「火災共済」プラス「自然災害共済(大型)」で

「自然災害共済」の「大型タイプ(ベーシック)」は「標準タイプ(エコノミー)」と比較してみると、掛け金の違いは少ないのですが、共済金の差が大きいことについて、改めて検討してみましよう。

退
県協
ニュース

第45号

NTT労働組合退職者の会
福島県支部協議会
福島市山下町5-10 TEL.024-534-1144

発行責任者●伏見吉弘
印刷●陽光社印刷株式会社



能登半島地震支援カンパ集約結果

ご協力有難うございました！

地区協	組織	金額	人数	金額
福島		0	72	253,770
二本松		35,700	0	0
郡山		0	18	126,000
須賀川		10,000	0	0
白河		0	5	10,000
石川		16,600	0	0
三春		10,000	2	6,000
会津		0	37	89,000
いわき		0	44	169,000
南相馬		85,000	2	6,000
相馬		0	7	23,000
計		157,300	187	682,770
合計				840,070

石川県能登地方を襲った大地震は多くの死者を出し、退職者の会においても会員一名と、その配偶者一名の死亡が確認されています。皆さんの温かい支援カンパは全国で四千九百四十一万二千三百三十二円集約されました。具体的な配分は別途決められます。これまでの各地区協・会員の協力で感謝申し上げます。二月二十七日現在

- 【福島】 遠藤 彰、尾形 省治、菅野 和子、蔵田 堯、黒島 武志、斉藤 孝弘、鈴木 伸也、橘 達也、長堀 正枝、真鍋 清子、淀川 龍男、【二本松】 廣瀬 弘子
- 【郡山】 阿部 寿子、大須賀保夫、堀川 明彦、水野 訓男、柳原 敬、【須賀川】 大河原 隆、近内 秀夫、【石川】 菊池 幸子、【三春】 佐藤英智郎
- 【会津】 伊藤 邦子、菊地登貴雄、佐藤キヨ子、長谷川正洋、花見 彌生、【いわき】 猪狩 範宏、塩 賢治、渋谷恵美子、関根 馨、吉田 文蔵、【南相馬】 吉川クニ子

新年早々に発生した能登を震源とする「令和6年能登半島地震」にて、被害にあわれた皆様には謹んでお見舞いを申し上げます。1日も早い復興と安全をお祈りいたします。

私は、2007年の初当選以来、政策の3本柱の一つとして消防防災「まもる」を掲げ、議員活動に取り組んできました。高校3年生のときに郷里の徳島で阪神・淡路大震災を経験しました。自然災害を避けては通れないこの国で、国民の生命・身体・財産を守るためには政治が役割を果たす必要を強く感じるようになりました。

当選後は、消防や防災を扱う「総務委員会」「災害対策特別委員会」に所属し、社会資本整備などのハード事業と自治体におけるBCP(事業継続計画)策定などのソフト事業を両輪で進めることの重要性を指摘し続けてきました。

具体的な活動の一つとして、市町村における防災行政無線の整備状況のチェックがあります。国は、当初は数値を出すことすら渋りましたが質問を繰り返した結果、国は調査を実施し、それによって防災行政無線の整備が進みました。このほかにも通信インフラの非常用電源の整備状況など、国が把握していない実態を指摘することで防災対策の前進に貢献してきました。また、情報通信企業出身の議員として民主党政権時代には、党の情報通信ワーキングチーム座長を務め、被災地の復旧・復興のためのICT対策の報告書を取りまとめました。

災害時の情報伝達という点では、「正常性バイアス」という言葉を国会で初めて取り上げ、国がつくる「避難勧告等の判断・伝達マニュアル作成ガイドライン」の見直しにつなげました。今後も国に欠けている視点を指摘し、国民の生命・身体・財産を守る活動にまい進してまいります。

今後、全国各地にお邪魔することになりますが、皆様にお会いできることを楽しみにしています。

立憲民主党 参議院議員 (NTT 労組組織内) 吉川さおり

★是非ご利用ください★

支部協ホームページ5月に開設

<https://www.nttob-fukushima.com>

- ★会員とのコミュニケーションツールとして開設
- ★ホームページの「お問い合わせフォーム」からも、支部協への問い合わせができます。
- ★「会員情報」のログインID・パスワードは、各地区協へお問い合わせください。

新会員を紹介しします (昨年五月一日〜四月一日入会)

会員紹介コーナー



三春地区協議会 小林 俊雄

薪ストーブの柔らかな炎に ひとり酔いしれる



穏やかな雑木林と、ゆるやかな山並みが連なる小さな城下町、三春。

振り返ってみると、山形からこの地に来て57年。いつのまにか75歳を過ぎ、後期高齢者の年代に達してしまい、気持ちは若いつもりでも体力は衰え、スキーや山登りなど遠い昔の語り草になってしまった。

趣味といってもとりわけ別がないが、15年前、長年の夢だった薪ストーブを中心に据えた山小屋風の部屋にリフォームし、毎日ストーブの薪づくりに精を出している。

裏山は、昔村人が炭焼きやシイタケ原木の切り出しに汗を流し、ヤマユリの咲き誇る豊かな里山だったが、今は訪れる人もなく藪に覆われた狸の棲家になっている。毎日1～2時間裏山に入り、下枝刈りや間伐・枯れ枝拾いと趣味と実益を兼ねた薪づくりをせっせと行っている。薪ストーブ1台だけで家全体がぬくもり、煮物など炊事にも使える為、冬場はガス代が半分になるなど思わぬ経済効果も出ている。太古の昔から永遠と続く人間と火の営み。悠久の歴史の流れに思いを馳せ、ストーブに燃える炎を見つめながら静かに酒を傾ける。ゆったりとした、何物にも代えがたい小さな至福のひと時。自然の優しさを心に刻みながら、薪ストーブの柔らかな炎に今日もひとり酔いしれる。



南相馬地区協議会 関戸 邦彦
いつまでも好奇心



2017年3月、市からの要請を受け、定年まで1年を残して退職し、南相馬市原町生涯学習センター所長として5年勤務しました。

その間、企画事業の一つとして「ウクレレ教室」を立ち上げ、講師は、地元での合唱仲間の友人にお願いしました。

東日本大震災・コロナ禍を経て、現在は自主的な生涯学習団体「アロハ・ウクレレ」として、15年が経過しました。毎月第1・2・3火曜日午後、17名で練習に励んでいます。

当初「Cコード・Gコードって何？」から始まった人も、今ではベテラン。社会福祉協議会の催し、労金の新春の集い、デイサービス事業所でのボランティア演奏、行政区の行事等々、多々問い合わせに対応しています。



石神地区文化祭芸能発表会 (筆者は後列右端)

ウクレレの良さは何よりも手軽さです。高望みさえしなければ手軽に求めることもできます。楽器(ウクレレ)を手にしたら、即、曲の演奏です。そう！できるんです。誰にでも、簡単に！やってみよう！好奇心です

ね。曲目は、難易度を求めなければ童謡・歌謡曲・ハワイアン・クラシック・フォークソング・ニューミュージック etc 何でも OK です。

かけがえない友人も生まれます。継続は力ですね。これからも楽しく続けていきたいと思っています。

自分の趣味として、他には、50年以上続けている男声合唱(原町メンネル・コール) 毎週土曜日夜。ラージボール卓球、約10年以上、毎週月曜・金曜日午後。県内外友人との音楽創作活動、約50年。写

この人に聞く



石川地区協議会 緑川 キチ
私は元気な102歳

増子勝昭会長が、元気に102歳を迎えられた緑川キチさん宅を訪問し、日頃の生活ぶりについてインタビューしました。



問：昨年の12月で満102歳を迎えられました。おめでとうございます。

答：有難うございます。こんなに長生きするとは、思ってもいませんでした。

問：仕事は何をやっていましたか。

答：石川新町郵便局で電話交換手として働いていました。その後、自動改式により石川電報電話局に集約されました。

問：石川電報電話局で定年まで働かれましたが、心に残ることがありましたか。

答：石川局では地集の設備が次々と増設されて交換業務も忙しく、それに子育ても加わり、夢中で働いた記憶があります。また、突発性難聴になり、いろいろ治療を試みたのですが回復せず、今でも片方の耳の聞こえが良くありません。楽しい思い出は、電電記念日に表彰された同僚と2人で九州一周旅行をしたことが、今でも思い出されます。

問：健康で長生きの秘訣を教えてください。

答：食べ物の好き嫌いはありません。ただ塩分は控えめにしております。それからゆったりとした気分です。日々を過ごしています。

問：今の生活を聞かせてください。

答：週3日デイサービスに行っています。皆さんとおしゃべりしたり職員の人と一緒に作品を作ったり、また、俳句を作ったりして楽しんでいます。新聞も全国紙と地方紙の二紙を読むのが毎日の日課です。県支部協のニュースも配達される都度読んでいます。

問：最後に我々後輩に対して、何か話したいことなどありますか。

答：皆さんにいろいろ良くしてもらい、有難く思っております。今後ともよろしくお祈りします。

インタビューー増子勝昭さんからのコメント

大正・昭和・平成・令和の4年号を生きてこられました。息子(長男)さんは東京採用の線路職で、石川にUターン後私と一時期同僚でした。その後郡山へ集約、そのまま定年となり定年後ほどなく死去。弟さんも早世し、現在は死去された長男の嫁さんと2人暮らしです。

第二回(拡大)地区協代表者会議開催



四月二十二日、石川町の八幡屋において開催し、経過報告と今後の取組みについて協議しました。

- 【経過報告】
 - 一、退職予定者に対する説明会を実施し、新たに十名が加入しました。
 - 二、「能登半島地震被災者支援カンパ」は、表面一覧表のとおり集約されました。
 - 三、支部協ホームページを、五月中旬に開設しました。
- 【今後の取組み】
 - 一、緊急連絡先登録の取組みについて
 - 二、支部協総会開催の形態について
 - 三、電通共済生協(火災・自然災害共済)の制度改定について
 - 四、女性会員の活動への参加・参画について
 - 五、会員減少及び役員の高齢化に伴う諸課題について

真撮影、約?年。アコーディオン、約?年。退職者の会でのグラウンドゴルフ。ゴルフ等々。

また、ボランティア活動として社会福祉協議会の生活支援員(月に3～4回、半日程度)震災後約12年も、大切なことのひとつとして続けております。地元行政区の区長を3期6年(現在はパトナタッチ済み)務めました。

自分の手の届く範囲での好奇心を大切に、趣味を楽しみつつ、明るく・楽しく・元気よく、地域の方々、退職者の会の皆様と過ごしていけるよう思っているこの頃です。